

男女共同参画推進室

office of Gender Equality

時代が大きく揺れ動く中、必要となる施策も日々変化して行きます。当室では、そのような変化にも機敏に対応したいと考えております。今後も皆さまと共に、筑波大学における男女共同参画を通じて、よりよい教育研究環境の実現を目指します。

<http://www.geo-wlb.tsukuba.ac.jp/>



主な活動

本学では男女共同参画の推進に関わる基本理念・基本方針を定めているように、男女の差なく多様性をお互いに尊重するという大学本来の考え方、価値観の中で、個人が持つ能力を存分に発揮できる環境づくりを推進しています。

そのために、男女共同参画推進室では、子育て支援などの環境整備、ワーク・ライフ・バランス相談室“あう”を開設し相談体制を整備、また、シンポジウムやセミナー・研修による意識啓発、男女共同参画に関する共通科目の開設などによる女性研究者裾野拡大のほか、筑波地区研究機関と連携しながら事業を実施しています。



意識啓発



管理職FD研修

2010年6月24日
「大学における男女共同参画」
[講演者] 京都大学大学院文化研究科
教授 伊藤 公雄氏



学長・女性研究者懇話会

2010年6月25日
教員、研究員、博士課程生
など11人が参加



トップマネジメントセミナー

2010年7月15日
「男女共同参画の推進は
知の革新と創造」
[講演者] 客員教授 堂本晴子氏

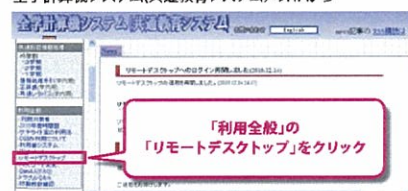
環境整備

ベビーシッター育児クーポン発行

【利用対象者】本学に在職する職員
【対象年齢】0歳～小学校3年生
【割引額】割引券1枚あたり1,700円
<http://www.geo-wlb.tsukuba.ac.jp/node/1818>

インターネットによる在宅支援

全学計算機システム(共通教育システム)のHPから



<http://www.geo-wlb.tsukuba.ac.jp/node/1826>

相談体制整備

ワーク・ライフ・バランス相談室 “あう”

Work-Life Balance Counseling “Au”



“あう”の由来:

仕事と生活が支え「合う」
みんなに出「会う」
自分らしさに出「会う」
知恵、そしてつくばの象徴「OWL(ふくろう)」
あなたの「あう」、実現のために支援します

<http://www.geo-wlb.tsukuba.ac.jp/node/1698>

『ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)』とは

厚生労働省は、「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)意章」を定め、「仕事と生活の調和が実現した社会」作りのために、企業をはじめ働く者や、国民の効果的な取組、国や地方公共団体の施策を行動基準とし、「国民一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できる」社会づくりを目指すというものです。(2007年12月政府の「ワーク・ライフ・バランス推進官民トップ会議」が「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)意章」を策定)

WLB相談室“あう”の役割

個々が持つ問題に対して相談業務を提供

●仕事で起こる問題

労働条件、職場環境、研究・業務、
上司や部下について、ストレス、人間関係など

●ご自身に関する相談

家庭や子育て、介護、ヘルスケア等に関する問題、
将来のキャリアプランや方向性等の検討など

相談申し込み

<http://www.geo-wlb.tsukuba.ac.jp/node/1701>

電話: 029-853-8503 (相談室直通)

E-mail: geo-soudan@un.tsukuba.ac.jp



筑波キャンパス相談室



東京キャンパス相談室

予約受付

【筑波キャンパス】(月)～(金) 9:00～17:00※ 【東京キャンパス】(金曜のみ) 11:00～17:00※

※17:00～19:00のご相談も予約の上、応じます。

多数の教職員からの声を収集

WLB相談室“あう”は、相談室で受ける通常の相談業務に加えて、教職員の皆さまから直接話を伺いたいと考え、面談を実施しています。